

試験報告書

依頼者 有限会社 クリーンケア

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号

検体 ClO₂徐放剤 (KESTAS) 2g

表題 抗菌力試験

2015 年(平成 27 年)03 月 19 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

抗菌力試験

1 依頼者

有限会社 クリーンケア

2 検 体

ClO₂徐放剤 (KESTAS) 2g

なお、依頼者から測定機器の提供を受けた。

3 試験目的

検体の白癬菌に対する抗菌力を試験する。

4 試験概要

高圧蒸気滅菌(121 °C, 15分間)した綿布(約5 cm×5 cm)に白癬菌の菌液を滴下し、試料とした。密閉容器(容量: 9 L)の底部に検体1個、試料3個、精製水10 mLを入れたシャーレ1個及び測定機器を設置し、室温で3, 6及び24時間保存後、試料を取り出し、生菌数を測定した。また、あらかじめ予備試験を行い、生菌数の測定方法について検討した。

5 試験結果

結果を表-1に示した。また、培養後の生菌数測定平板を写真-1~7に示した。

なお、SCDLP培地10 mLを用いて試料を洗い出すことにより、検体の影響を受けずに生菌数が測定できることを予備試験により確認した。

表-1 試料の生菌数測定結果

試験菌	対 象	生菌数 (/個)			
		開始時* ¹	3時間後	6時間後	24時間後
白癬菌	検 体* ²	6.4×10^5	<10	<10	<10
	対 照* ³	6.4×10^5	4.4×10^5	3.1×10^5	2.8×10^5

試料：高圧蒸気滅菌(121 °C, 15分間)した綿布(約5 cm×5 cm)に試験菌液0.1 mLを滴下したもの

保存温度：室温

<10：検出せず

*1 調製直後の試料の生菌数を測定し、開始時とした。

*2 密閉容器(容量：9 L)の底部に検体1個，試料3個，精製水10 mLを入れたシャーレ1個及び測定機器を設置した。

*3 検体を設置しない密閉容器内で保存した試料

6 試験方法

1) 試験菌

Trichophyton rubrum TIMM 2659(白癬菌)

2) 菌数測定用培地及び培養条件

GPLP寒天培地[日本製薬株式会社]，混釈平板培養法，25 °C±1 °C，7日間

3) 試験菌液の調製

試験菌をPotato Dextrose Agar(Difco)で25 °C±1 °C，10～14日間培養した後，胞子を0.005 %スルホコハク酸ジオクチルナトリウム溶液に浮遊させ，不織布フィルターでろ過後，菌数が $10^6 \sim 10^7$ /mLとなるように調製し，試験菌液とした。

4) 試料の調製

高圧蒸気滅菌(121 °C, 15分間)した綿布(約5 cm×5 cm)をシャーレに入れ，試験菌液0.1 mLを滴下したものを試料とした。

5) 試験操作

密閉容器(容量:9 L)内の底部に検体1個, 試料3個, 精製水10 mLを入れたシャーレ1個及び測定機器を設置し, 室温で保存した。保存3, 6及び24時間後に試料を取り出し, SCDLP培地[日本製薬株式会社]10 mLを用いて洗い出した。この洗い出し液の生菌数を菌数測定用培地を用いて測定し, 試料1個当たりに換算した。

なお, 検体を設置しない密閉容器内で保存した試料についても同様に試験し, 対照とした。